

山形県広報誌県民のあゆみ令和4年11月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

<表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和4年11月号 第630号

県民のあゆみ11月号

県民の皆さまへ 新型コロナウイルス感染症関連情報（2ページ）

特集 「子育てするなら山形県」の実現に向けて！（4ページ）

奏であう人 先人が伝えた技を次代へとつなぐ（8ページ）

潜入レポート！ 山形県ドクターヘリ（16ページ）

今月の表紙

「すごいな！山形わくわく体験モデル事業」でハンカチの紅花染めを体験する「認定こども園 杉の子」の園児の皆さん。ハンカチの模様になる「絞り」を作って、紅花の染料に浸すと鮮やかな紅色に。世界に一つだけのハンカチ作りを楽しみました。（撮影場所：河北町紅花資料館）

<2から3ページ>

タイトル

命と暮らしを守るために全力!!

8月3日からの大雨は、県内に甚大な被害をもたらしました。改めて、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。

県では、豪雨災害に加え、新型コロナ、原油価格・物価高騰等の喫緊の課題に対応するため、過去最大規模となる9月補正予算を編成し、これら諸課題に対応してまいります。

新型コロナにつきましては、医療機関からの発生届の対象者を高齢者や妊婦、入院を要する方などに限定する運用を行い、保健所や医療機関の負荷を軽減することで、特にケアが必要な方が円滑に受診できるようにしております。発生届の対象外となる自宅療養者の方に対しましては、「陽性者健康フォローアップセンター」を設置し、体調不安や症状悪化時の相談等に対応する体制を構築しております。特に、高齢者や一人暮らしの方への支援については、十分配慮してまいります。

県といたしましては、県民の皆さまの命と暮らしを守り、県内経済の回復を図るため、今後も、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

山形県知事 吉村美栄子

新型コロナ「陽性」になった場合 自宅療養をされる皆さまへ

陽性者健康フォローアップセンター

電話番号 050-5530-2138（24時間受付）

新型コロナの発生届の対象外となる方が、安心して自宅療養できるよう、陽性者情報の登録受付、

体調に不安のある方や症状の悪化した方のご相談に対応しています。

詳しくはこちら

https://www.pref.yamagata.jp/090016/followup_center.html

自己検査等で陽性になった方

専用 WEB サイトから陽性者情報を登録（24 時間受付）

登録はこちらから

https://www.pref.yamagata.jp/090016/touroku_center.html

登録方法に関する相談窓口

電話番号 050-5444-2359（午前 9 時から午後 5 時）

医療機関で陽性と診断された方

（発生届対象外の方）

専用 WEB サイトから陽性者情報を登録（24 時間受付）

登録はこちらから

https://www.pref.yamagata.jp/090016/yosei_forem.html

療養中のご相談・お問合せ

- ◆ 自宅療養中の体調不安や症状悪化時の相談
- ◆ 自宅療養に関する問合せに対応（療養期間、食料支援、宿泊療養ほか）
- ◆ 医療機関で陽性診断の方（発生届対象外の方）の登録相談
（注釈）陽性者登録をしていない方も相談可能

（発生届の対象の方とは 1. 65 歳以上 2. 入院が必要 3. 重症化リスク有、かつ、新型コロナ治療薬または酸素投与が必要 4. 妊婦）

コロナ後遺症の相談・受診について

コロナ後遺症とは、新型コロナから回復した後にも、他に明らかな原因がなく、倦怠感、せき、息切れなどの症状が一定程度続く症状です。こうした症状にお悩みの方は、以下のとおり相談・受診をご検討ください。

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/090016/kenfuku/iryo/kansen/kansenshou/longcovid.html>

- 1 定期的に通院している、かかりつけ医がある方は、まずはかかりつけ医にご相談ください。
- 2 かかりつけ医が無い方は、県ホームページに掲載の診療可能診療所を参考に受診をご検討ください。
- 3 どの診療科を受診するかお悩みの方には、コロナ後遺症コールセンターで症状や体調についてお話を伺いし、症状に応じた診療可能診療所を紹介します。

山形県コロナ後遺症コールセンター

フリーダイヤル 0120-56-7690 受付時間 午前 8 時 30 分から午後 6 時（土日祝日含む）

問い合わせ コロナ収束総合企画課

陽性者健康フォローアップセンターについて 電話番号 023-630-2315

コロナ後遺症について 電話番号 023-630-2494

9 月補正予算（418 億 1,700 万円）の概要

豪雨被害への対応や新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取組みに加え、原油価格・物価高騰対策、さらにはポストコロナを見据えた未来への投資など、過去最大規模となる 9 月補正予算を編成しました。その代表的な取組みをご紹介します。

1 令和 4 年 6 月から 8 月までの豪雨被害への対応

被災した土木関係施設や農林関係施設などの復旧事業を実施するとともに、被災者の生活再建を支援

- 道路や河川の災害復旧工事等
- 農業用ため池や林道・治山施設の災害復旧工事等
- 住宅に被害を受けた方に対する支援金の支給等

2 コロナ禍における原油価格・物価高騰等への対応

(1) 事業者の事業継続への支援

- 原油価格・物価高騰の影響を受けている県内事業者への給付金の支給
（注釈）8 月 3 日からの大雨で被災した事業者には給付金を増額
- 運送事業者や地域交通事業者への支援
- 農業者の肥料価格・施設園芸に係る燃油価格・配合飼料価格の高騰への支援及び農業水利施設の電気料金高騰への支援
- 社会福祉施設の原油価格・物価高騰への支援

(2) 県民生活への支援

- 低所得世帯に対する冬季の灯油購入費等の臨時的な支援
- 生活困窮者等への県産品カタログギフトの提供
- 児童手当を受給している多子世帯へのチェリカの提供

3 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

- 大阪及び名古屋事務所への移住相談窓口の新規設置、テレワーク移住に係る支援及び移住セミナー・やまがた体験ツアー等の実施
- インバウンド復活に向けたプロモーションの強化及び県外空港を利用して本県を訪れる外国人観光客向け旅行商品の造成に対する支援
- 令和 5 年の「やまがた紅王」本格デビュー及び令和 7 年「さくらんぼ栽培 150 周年」に向けた PR 並びに継続的な県産フルーツの情報発信に向けた計画の策定
- G I G A スクール構想に基づく県立学校のネットワークの強化

4 新型コロナウイルス感染症への対応

- PCR等検査費用や宿泊・自宅療養中の医療費に対する公費負担の増額
- 中小企業等において事業継続を判断した際の抗原検査キット活用支援の継続

5 諸課題への対応

- 今春の凍霜害・ひょう害等により被害を受けた野菜・果実等の選別作業への支援
- ウクライナからの避難民の受入れ及び支援
- 山形新幹線米沢トンネル（仮称）整備事業におけるJR東日本との追加共同調査の実施（令和4年から令和6年度債務負担行為）

<4から5ページ>

タイトル

特集

「子育てするなら山形県」の実現に向けて！

子どもは、いつの時代においても社会の宝です。県では、誰もが安心して子どもを生み、育てることができる社会の実現に向けて、結婚、妊娠・出産、子育てのステージに応じたきめ細かな支援に取り組んでいます。

写真キャプション

県ではパパもおむつ替えができる「赤ちゃんほっと♥ステーション」の登録制度をはじめました。（撮影場所：山形県立図書館）

本県の婚姻・出生の現状

結婚観・家庭観の変化による未婚化・晩婚化や、経済的負担の増大による不安感などを理由とした少子化が止まらない状況です。

加えて、新型コロナの影響により、出会いや結婚の機会が減少していることや、妊娠や出産を控える傾向がみられたことなどにより、この状況に拍車がかかっており、現状を踏まえた対策を講じていく必要があります。

本県の婚姻数・出生数の推移

平成24年	婚姻数 4,881組	出生数 8,212人
平成25年	婚姻数 4,741組	出生数 8,159人
平成26年	婚姻数 4,699組	出生数 7,966人
平成27年	婚姻数 4,522組	出生数 7,831人
平成28年	婚姻数 4,284組	出生数 7,547人
平成29年	婚姻数 4,311組	出生数 7,259人
平成30年	婚姻数 4,039組	出生数 6,973人
令和元年	婚姻数 4,014組	出生数 6,401人
令和2年	婚姻数 3,530組	出生数 6,217人
令和3年	婚姻数 3,386組	出生数 5,898人

婚姻数・出生数とも年々減少が続いていますが、新型コロナの影響によりその傾向が加速しています

令和3年の出生数は、初めて6,000人を下回りました

県民一人ひとりが結婚、妊娠・出産、子育てに希望を持ち、 しあわせを実感できる山形へ

県では、「やまがた子育て応援プラン」を策定し、市町村や企業、民間団体と一緒に、切れ目のない支援に取り組んでいます。若い世代が将来に希望を持ち、安心して子どもを産み、子育ての楽しさと幸せを感じながら暮らし続けることのできる社会の実現に向け、これまで支援策を拡充してきました。

今年度は、①結婚、②妊娠・出産、③子育てのそれぞれのステージにおけるきめ細かな支援策や、子どもたちの郷土愛の醸成などに取り組んでおり、ここでは、特に力を入れている新たな取組みについて紹介します。

写真キャプション

高校生による乳幼児とのふれあい体験の様子

すごいな！山形わくわく体験モデル事業

保育園や幼稚園を対象に、果物狩りや紅花染めなど、幼少期から地域の魅力・素晴らしさに触れ、体験してもらうモデル事業を実施中です。

（注釈）撮影時のみマスクをはずしています

（1）結婚のステージ

やまがたハッピーサポートセンターにAIマッチングシステムを導入！

新型コロナの影響により、結婚を希望している方の出会いの機会がとて少なくなっています。このため、県や全市町村などで組織する「やまがたハッピーサポートセンター」では、令和4年11月下旬から、AIがおすすめの相手を紹介する機能を持ち、自宅などから利用できる新たなマッチングシステムを導入します。

センターでは、結婚相談会の開催やボランティア仲人の「やまがた縁結びたい」による支援も行っていますので、興味のある方はぜひセンターのHPをご覧ください。

やまがたハッピーサポートセンター

詳しくはこちら <https://www.dsc-yamagata.jp/>

（2）妊娠・出産のステージ

不妊治療に取り組む夫婦、新生児が生まれた世帯を支援

県では、令和4年度から新たな不妊治療費助成事業を行っています。従来、「特定不妊治療費助成」として定額で助成されていた不妊治療が保険適用となったことに伴い、新たに生じる自己負担分に対し、最大9万円を助成しています。

また、令和3年度から、出産に伴う経済的負担を軽減するため、新生児が生まれた世帯に、新生児1名あたり5万8千円を「出産支援給付金」として給付しています。

不妊治療費助成

＜助成対象＞

公的医療保険が適用される不妊治療を受けた方

＜助成金額＞

1回あたり最大9万円

＜申請方法＞

お住まいの地域の保健所に申請（山形市の場合は村山保健所）

＜助成イメージ＞

保険適用（7割）

（助成対象）自己負担（3割）

出産支援給付金

＜対象世帯＞

出生後最初に県内市町村に住民登録された新生児がいる世帯

＜給付金額＞

新生児1名につき、58,000円

＜給付手続＞

お住まいの市町村を通して給付

（3）子育てのステージ

県民総ぐるみで子育てを応援

赤ちゃんほっと♥ステーション登録制度を開始

今年度から、県内の商業施設などの協力をいただき、「赤ちゃんほっと♥ステーション」の登録制度をはじめました。これは、赤ちゃんや小さなお子さんを連れたママ・パパが、外出先でも安心して授乳やおむつ替えができるよう、要件を満たす施設を登録・周知する取組みです。登録施設は「やまがた子育て応援サイト」に掲載していますので、ぜひご活用ください。

写真キャプション この登録ステッカーが目印です！

子育ても仕事も楽しめる社会を目指して

子育てしやすい社会をつくるには、各ステージにおける支援のほか、仕事と子育ての両立に向けた支援も重要です。

女性も男性も子育てしながら無理なく働くことができる企業の職場環境づくりや、子育ての負担が女性に偏ることがないように、男性の育児・家事への参画を促進するなど、「子育てするなら山形県」の実現に向けて、取組みを進めていきます。

やまがた子育て応援サイト

子育てに関する支援やイベント、県内の遊び場など子育てに役立つ情報をわかりやすくリアルタイムで発信しています。

妊娠中や産後、乳幼児の子育てに関するちょっとしたお悩みにお答えするメール相談や、「やまがた子育て応援パスポート」などの便利なコンテンツも満載です。

ぜひご覧ください！

サイトはこちら

<https://kosodate.pref.yamagata.jp/>

ぜひご覧ください！

県政テレビ番組

いき☆いきやまがた 放送のご案内

「『子育てするなら山形県』の実現に向けて」と題して県内民放4局で特別番組（30分）を放送します。

山形テレビ（YTS）11月5日（土曜日）午後1時から

テレビユー山形（TUY）11月13日（日曜日）午後2時30分から

山形放送（YBC）11月19日（土曜日）午後0時55分から

さくらんぼテレビ（SAY）11月27日（日曜日）午後4時から

放送時間は変更になる場合があります。

問い合わせ しあわせ子育て政策課 電話番号 023-630-2668

<6から7ページ>

タイトル

親子で楽しい読み聞かせをしてみませんか？

県では、「読育」として「本好きな山形の子ども」を育て、子どもたちの健全な心身の発達を応援するため、子どもの読書活動の推進に取り組んでいます。

「読み聞かせ」をして、親子で絵本の世界に親しもう！

絵本の「読み聞かせ」は、子どもの読書の出発点であり、子どもが言葉を学んだり、想像力や感情を豊かにするなどの効果があるといわれています。また、親の愛情を感じ、親子で一緒に楽しむことのできるコミュニケーション・ツールのひとつでもあります。親子で一緒に絵本の世界に親しんでみませんか。

おすすめの絵本

<0歳から2歳ごろ>

子どもの好きなものが登場

身近な動物や植物が登場

生活の中の言葉にふれている

言葉や音のくり返しがある

<2歳から8歳ごろ>

昔ばなし

物語・童話

科学絵本

生きもの図鑑

読み聞かせの効果

言葉を学ぶ
想像力を豊かにする
親子の信頼を深める
感情を豊かにする
集中力が身につく

はじめてみよう！親子読み聞かせ

ワンポイントアドバイス♪
県家庭教育アドバイザー
渡邊 裕子 氏

<ポイント1>

絵本選びは「ねらいすぎない」。大人も一緒に読み聞かせを楽しもう。

「こんな絵本、薄いし、幼すぎるかな。」そんなことは、ありません。すぐ終わるような、短い絵本でもよいのです。一緒に絵を見ることも楽しんでみましょう。

<ポイント2>

絵本をめくるときのページとページの間の余韻も味わおう。

動画やアニメと違って、絵本にはページの間にも物語があります。ゆっくりページをめくって、次のページの場面までに、どんなことが起きていたのか、お子さんと一緒に想像することも楽しいですね。

<ポイント3>

「また？」「まだ？」と思わず、何度でも。何歳でも。

お子さんは、内容を覚えているからこそ、自分の知っている結末が聞けることに期待して、同じ本を持ってきます。また、お子さんが成長し、たとえ文字が読める年頃でもいいのです。「ねえ、読んで♪」と、本を持ってきたならば、何度でも、いくつになっても、温かい気持ちで読んであげましょう。

<ポイント4>

家族のライフスタイルに合わせて、気軽に始めましょう。

読み聞かせに、「なにになにせねばならない」は、ありません。おうちの方のご負担にならない時間帯やタイミングを選んで取り組んでみましょう。

親子読み聞かせ講座（読育推進連携講座）

県では、村山・最上・置賜・庄内の4地域で、幼児から小学生と、その保護者を対象に親子読み聞かせ講座を開催しています。

講座では、市町村にある図書館や美術館、自然公園など、さまざまな場所を会場に、館内探検や木の実を使ったものづくり体験、アート鑑賞体験などと読み聞かせを組み合わせた楽しい企画を用意しています。

読書の秋、ぜひお子さんとご参加ください。

写真キャプション：森の中での読み聞かせ（令和3年度庄内地区講座）

【村山会場】（予定）

11月27日（日曜日）9時30分から11時15分

会場：山形県立図書館

テーマ：「親子で探そう！ひたろう！秋・冬シーズン絵本ハンター」

【庄内会場】（予定）

12月10日（土曜日）（注釈）時間帯は未定です。

会場：酒田市美術館

テーマ：アート鑑賞と読み聞かせのコラボ

（注釈）参加方法など詳しくは、各教育事務所のホームページをご覧ください。

村山教育事務所ホームページ

<https://www.pref.yamagata.jp/702004/bunkyo/kyoiku/iinkai/kyouikuiinkai/murayamakyouiku/shakyo.html>

庄内教育事務所ホームページ

<https://www.pref.yamagata.jp/707001/bunkyo/kyoiku/iinkai/kyouikuiinkai/707001/shakyo2011.html>

問い合わせ 生涯教育・学習振興課 電話番号 023-630-2872

県職員の給与の状況

■県職員給与の決定のしくみ

県職員の給与は、民間事業従事者の給与実態などを踏まえた人事委員会勧告に基づき、国や他の地方公共団体との均衡も考慮して、県議会の審議を経て条例で定められています。

■行財政改革の取組み

本県では、これまで、平成7年度の「山形県行財政改革大綱」以来、8次にわたり行財政改革推進プランなどを策定し、適正な定員管理、給与管理により、総人件費の増加の抑制を進めてきました。

引き続き、「山形県行財政改革推進プラン 2021」（令和3年から6年度）に基づき、無駄のない簡素で効率的な組織機構、人員体制の実現に向けて取り組むとともに、職員給与については、適正な制度運用を行っていきます。

なお、令和4年度当初予算における職員給与費は、10年前の平成24年度当初予算と比較した場合、84億円（7.4パーセント）を削減しています（1,138億円から1,054億円）。同様に、令和4年度当初の定員（企業局及び病院事業局を除いた普通会計部門の人数）は、平成24年度当初と比較した場合、1,191人（6.8パーセント）を削減しています（17,574人から16,383人）。

人件費の状況（普通会計決算令和3年度）

- 歳出額（A）／7,103億1,349万円
- 人件費（B）／1,482億1,905万円
- 人件費率（B／A）／20.9パーセント
- 令和2年度の人件費率（参考）／22.1パーセント

注釈 人件費には、特別職に支給される給料・報酬等を含みます。

職員給与費の状況（普通会計予算令和4年度）

職員数／16,171（175）人

給与費の内 給料：679億973万円

給与費の内 職員手当：118億7,306万円

給与費の内 期末・勤勉手当：255億7,410万円

給与費合計 1,053億5,689万円

職員1人当たりの給与費／652万円

注釈1 職員手当には退職手当を含みません。

注釈2 括弧内は、再任用短時間勤務職員であり、外書きです。

職員の平均給料・平均給与の月額及び平均年齢（令和4年4月1日現在）

一般行政職 給料月額／330,800円 給与月額／411,800円 年齢／43歳6月

警察職 給料月額／323,200円 給与月額／439,900円 年齢／38歳8月

高等学校教育職 給料月額／388,500円 給与月額／430,500円 年齢／47歳0月

小中学校教育職 給料月額／365,900円 給与月額／398,100円 年齢／44歳4月

技能労務職 給料月額／336,600円 給与月額／376,700円 年齢／52歳10月

注釈 給与月額は給料月額に職員手当の月額を加えたものです。

職員の初任給の状況（令和4年4月1日現在）

一般行政職 大学卒業程度／給料月額 185,100円 高校卒業程度／給料月額 152,300円

警察職 警察官A／給料月額 212,000円 警察官B／給料月額 172,000円

高等学校教育職 大学卒／給料月額 207,400円 高校卒／給料月額 161,800円

小中学校教育職 大学卒／給料月額 207,400円 高校卒／給料月額 161,900円

定員の状況（各年4月1日現在）

知事部局／令和3年度 4,054人／令和4年度 4,060人／増減 プラス6人

議会事務局／令和3年度 30人／令和4年度 30人

選挙管理委員会事務局／令和3年度 4人／令和4年度 4人

監査委員事務局／令和3年度 16人／令和4年度 16人

人事委員会事務局／令和3年度 16人／令和4年度 16人

海区漁業調整委員会事務局／令和3年度 1人／令和4年度 1人

内水面漁場管理委員会事務局／令和3年度 0人／令和4年度 0人

警察本部／令和3年度 2,350人／令和4年度 2,350人

教育委員会計／令和3年度 10,002人／令和4年度 9,906人／増減 マイナス96人

教育委員会の内 教育庁／令和3年度 242人／令和4年度 243人／増減 プラス1人

教育委員会の内 小・中・高等学校等／令和3年度 9,760人／令和4年度 9,663人／増減 マイナス97人

普通会計部門計／令和3年度 16,473人／令和4年度 16,383人／増減 マイナス90人

企業局／令和3年度 163人／令和4年度 163人

病院事業局／令和3年度 1,940人／令和4年度 1,933人／増減 マイナス7人

合計／令和3年度 18,576人／令和4年度 18,479人／増減 マイナス97人

注釈 知事部局に公営事業会計の流域下水道事業会計（13人）を含んでいます。

職員の期末・勤勉手当（令和4年4月1日現在）

期末手当 6月期／1.2月分 12月期／1.2月分 計／2.40月分

勤勉手当 6月期／0.925月分 12月期／0.925月分 計／1.85月分

計／ 6月期／2.125月分 12月期／2.125月分 計／4.25月分

注釈 国家公務員（計4.30月分）と比べて0.05月分低くなっています。

職員の退職手当（令和4年4月1日現在）

勤続20年の場合の支給率／自己都合 19.6695月分／勸奨・定年 24.586875月分

勤続25年の場合の支給率／自己都合 28.0395月分／勸奨・定年 33.27075月分

勤続35年の場合の支給率／自己都合 39.7575月分／勸奨・定年 47.709月分

最高限度額／自己都合 47.709月分／勸奨・定年 47.709月分

その他加算措置：定年前早期退職特例措置（2パーセントから20パーセント加算）

1人当たり平均支給額：一般職員 1,964万円／全体 2,006万円

注釈1 国家公務員と同様の制度となっています。

注釈2 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和3年度に退職した職員に支給された平均額です。なお、一般職員とは、全職種に係る職員から警察職及び教育職を除いた職員です。

特別職の給料月額等（令和4年4月1日現在）

知事：給料月額等 1,240,000円

副知事：給料月額等 954,000円

議員報酬

議長：給料月額等 904,000円

副議長：給料月額等 807,000円

議員：給料月額等 778,000円

期末手当

知事・副知事・議長・副議長・議員：給料月額等 6月期 1.6月分／12月期 1.6月分／計 3.2月分

注釈 期末手当の額は、給料月額等に100分の45の割合を乗じて得た額を当該給料月額等に加算した額に支給月数を乗じた額です。

問い合わせ 人事課 電話番号 023-630-2024

詳しい内容は、ホームページでご覧になれます。

<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/recruit/jinjikyuuuyo/index.html>

<8から9ページ>

タイトル 奏であう人 ボリューム68

撮影場所 株式会社飛庄（山形市）

キーワード 先人が伝えた技を次代へつなぐ

米沢織の織元として生まれ、写真織という新たな技法を打ち出した山口さんと、剪定鋏（ばさみ）という山形打刃物の世界に1ターンで飛び込んだ飯田さんに、伝統の技を次代に残すために必要なことについてお聞きしました。

山口 英夫さん（やまくち ひでお）さん（米沢市）

昭和37年生まれ、米沢市出身。織機をプリンターに見立て、写真や文様のデータをパソコンから直接織物にできる写真織の技術を開発。作品は米国のメトロポリタン美術館にも所蔵されるなど、芸術面で高い評価を得るとともに、その技術を応用し、「米織小紋」など独自のファッションブランドを展開するなど、現代のライフスタイルにも合う米沢織の製品開発を手がけている。

写真キャプション 普段使いできるようにと生まれた「米織小紋」は、今年でデビュー10周年。その節目に合わせて、今後は「米織衣（よねおりころも）」という名でカジュアルな洋服の提案も行っていくとのこと。米沢にある自社ショップは、ファッションブランドを地方から発信していくことを見据え、米沢織を軸としたカルチャー拠点としての整備を進めている。

飯田 千鶴さん（いいだ ちづる）さん（山形市）

昭和44年生まれ、東京都出身。都内の広告代理店の仕事に従事する一方で、一生ものの職人の技に憧れを抱きはじめる。かつてテレビで見た打刃物の世界、とりわけ鋏に魅了され、剪定鋏の切れ味一番は山形県と聞くと、運命に導かれるように株式会社飛庄の門を叩く。以来、切れ味を極めて樹木の命をつなぐ剪定鋏を作ることを目標に、第二の人生として鍛冶職人の道を歩む。

写真キャプション 200以上もあるという工程の終盤、切れ味に直結する“刃付け”。飛庄印の特長のひとつ“ハマグリ刃”。切り刃の形状をハマグリのような形に仕上げることで強靱（きょうじん）さと鋭さが生まれる。剪定時の切り抜けが抜群に良くなる構造で、摩擦が少なく切断面へのダメージを軽減する効果がある。

時代背景に合わせ変化し続ける工芸の姿

二十代も後半に差し掛かった頃、当時の最先端モデルのパソコンを購入し、織機を使って、写真を正確に織物で再現する写真織の技法を開発した山口さん。それは芸術として認められ、ニューヨークでの個展のほか、国内外での美術館展示など多くの功績を残すこととなります。

「私の予想以上に多くの人、多くの国で受け入れられました。ひとつの柄物生地としての提案が、芸術面で認められたことは、大きな驚きでした。」と山口さんは言います。

世界を魅了した新たな技法の開発は、同時に米沢織の可能性を世界に知らしめました。

一方、東京の広告代理店で伝統産業の魅力を発信する仕事に就いていた飯田さんは、昔から興味があったものづくりに従事したいと、四十歳を過ぎて自身の軸となる仕事を探しはじめます。情報を収集していたところ、“最高の切れ味”とも称され、イギリスの有名ガーデナーも愛用する飛庄の剪定鋏に出会い、山形への転職・1ターンを決意。平成27年から同社の鍛冶職人として働きはじめました。

「果樹の成長に欠かせない、余分な枝などを切り落とす剪定作業では、剪定鋏の切れ味が重要に。

鋭い切れ味によって切断面が綺麗なほど果樹へのダメージを減らすことができます」。南北朝時代の刀鍛冶がルーツとされる山形打刃物ですが、包丁や鎌のほか、剪定鋏という形に転じたのは、山形で盛んな果樹栽培が背景にあるといわれているそうです。

日常に寄り添う製品として

各地で伝統産業の後継者不足が課題となっている現代において、その技を次代へつなぐために大切なことは何でしょうか。

「自分たちで新たなニーズを作っていくことが、とても重要だと感じています。」と山口さん。さらに言葉を続けます。

「米沢織を日常生活の中で使ってもらえるよう、写真織の技術を生かし、オリジナルブランドの商品を自ら企画、製造、販売をしています。

“米織 イン ザ ライフ”をコンセプトに米沢織を普段使いできるようにと開発した小紋柄のストールやバッグなどが好評をいただいています」。

山口さんの言葉に飯田さんも応えます。

「飛庄の剪定鋏は、果樹産業が盛んな山形で、農家さんが使いやすいようにと、切れ味、使い心地を追求し、改良を重ねてきました。使う人のことを考えたものづくりが飛庄の剪定鋏を選んでもらうことにもつながっていると思います」。

「確かに握りやすい。機能を追求した美しさを感じますね。」と剪定鋏を手にする山口さん。飯田さんが続けます。

「農家さんから日々の剪定作業で使いやすいな、楽だなと思ってもらえる最高の鋏をこれからも作り続けていきたいです。それがおいしい果物づくりのお手伝いになれば幸せですね」。

山口さんがこれに応えます。

「今、伝統産業に関わる私たちが、次の世代に伝統産業の面白さ、可能性を伝えていくことが大事ですね」。

<10 から 11 ページ>

タイトル **県議会だより** 第 93 号

県会議の最新情報コチラから今すぐアクセス！

<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html>

9 月定例会の概要

令和 4 年 9 月定例会は、9 月 16 日に 10 月 7 日までの 22 日間を会期として開会しました。

今年 6 月から 8 月までの豪雨被害への対応とともに、原油価格・物価高騰などの喫緊の課題に対応するための令和 4 年度一般会計補正予算案や、教員免許更新制の廃止に伴い関係手数料を削除するための山形県手数料条例の一部を改正する条例の制定、委員の任期満了に伴う山形県教育委員会および山形県土地利用審査会の委員の任命など、知事提出の議案を審議しました。

今定例会では、県と市町村との連携についてや、インボイス制度導入に向けた県の対応についてなど活発な質疑質問が行われました。

9月定例会で質疑質問を行った議員

質疑質問の様子（動画）や会議録はこちらからご覧いただけます！

録画中継

<http://gikai.pref.yamagata.jp/YamagataPref/>

会議録検索システム（注釈 9月定例会分は12月以降に掲載予定）

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/prefyamagata/SpTop.html>

代表質問（9月22日）

自由民主党 小野幸作 議員 寒河江市・西村山郡選挙区

◆県と市町村との連携 など

県政クラブ 吉村和武 議員 山形市選挙区

◆インボイス制度導入に向けた県の対応 など

一般質問（9月26日）

自由民主党 遠藤寛明 議員 上山市選挙区

◆災害対応を踏まえた土地改良区の維持管理等の取組み など

県政クラブ 菊池大二郎 議員 村山市選挙区

◆やまがた健康住宅の普及促進と今後の住宅政策 など

日本共産党山形県議団 渡辺ゆり子 議員 山形市選挙区

◆学校給食の無償化 など

自由民主党 森田 廣 議員 酒田市・飽海郡選挙区

◆外航クルーズ船の誘致 など

予算特別委員会（9月28・29・30日）

自由民主党 相田光照 議員 米沢市選挙区

◆令和4年8月の大雨による被害状況と復旧に向けたスケジュール等 など

県政クラブ 今野美奈子 議員 鶴岡市選挙区

◆小児科病棟の看護体制の整備 など

自由民主党 榎津博士 議員 寒河江市・西村山郡選挙区

◆新型コロナ罹（り）患後症状、いわゆる後遺症がある方へのケア など

公明党 菊池文昭 議員 山形市選挙区

◆ドクターヘリの運用状況とドクターカーの導入への考え など

県政クラブ 高橋 淳 議員 鶴岡市選挙区

◆農業経営課題に係る総合的施策展開の考え方 など

自由民主党 奥山誠治 議員 山形市選挙区

◆「日本一子育てするなら山形県」を目指して など

県政クラブ 松田敏男 議員 寒河江市・西村山郡選挙区

◆児童虐待防止 など

自由民主党 船山現人 議員 東置賜郡選挙区

◆令和4年8月の大雨による被災者への支援 など

議会用語

常任委員会

常時設置されている委員会で、本会議から付託された議案や請願などを調査・審査します。本県では、県の仕事を部局ごとに分けて、6つの委員会を置いています。

委員会の概要はこちら <https://www.pref.yamagata.jp/600006/r04i innkai.html>

8月の豪雨災害現場の現地調査を実施

8月3日からの豪雨は、県南部を中心に県内各地において、道路、河川、農地等に加え、水道や鉄道などライフラインにも甚大な被害をもたらしました。県議会では、関係常任委員会が被害の状況について緊急に現地調査を行いました。

8月18日、建設常任委員会では、国道121号の道路崩落、県道長井飯豊線の橋梁（りょう）流出、最上川の溢（いっ）水現場の状況について、米沢市、飯豊町、大江町の道路・河川など3カ所を調査しました。

9月7日、農林水産常任委員会では、農地の冠水や土砂流入、農業用水路閉塞やため池決壊などの被害状況について、天童市、飯豊町、川西町、米沢市の農地・施設など5カ所を調査しました。

生涯健康・子ども支援対策特別委員会で意見交換会を開催

8月23日、「子どもの貧困に対する支援について」をテーマに、山形県社会福祉協議会および山形でのひら支援ネットとの意見交換会を開催しました。本県の子どもの居場所づくりに関して、現場の状況や関係者の方々のご意見などをお聞きするとともに、意見交換を行いました。

まちづくり・交通インフラ対策特別委員会で意見聴取を実施

8月23日、「地域交通インフラ・ネットワークの充実」をテーマに東北芸術工科大学吉田教授から意見聴取を実施しました。

車が主な移動手段となっている本県の特性を踏まえ、地域公共交通の維持や発展の方策等についてお聞きしました。

写真キャプション 東北芸術工科大学教授 吉田朗 氏

生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催

9月2日、山形大学人文社会科学部の学生10名と県議会議員5名による意見交換会を開催しました。

意見交換会では、「コロナ禍後の観光業のあり方」などの3つのテーマについて、学生の皆さんが感じる課題や意見を発表しました。その後、学生からの質問に対して議員が応答する形で議論を深め、若者の視点からさまざまな提案がなされました。

県議会ギャラリーに高校生の写真作品を展示

県議会ギャラリーでは、9月定例会中、今夏に開催された第46回全国高等学校総合文化祭「とうきょう総文2022」の写真部門に本県から選ばれた作品5点を展示しました。

11月18日(金曜日)地域議員協議会を開催します

県議会では、各地域における行政課題や施策展開について幅広く調査・審議するため、地元議員が出席する地域議員協議会を開催しています。各総合支庁を会場に、今年は11月18日(金曜日)に開催します。傍聴可能ですので、ぜひ足をお運びください。

東南村山地域(村山総合支庁本庁舎) 午後2時から

西村山・北村山地域(村山総合支庁西村山地域振興局) 午前10時から

最上地域(最上総合支庁) 午後3時から

置賜地域(置賜総合支庁本庁舎) 午後2時から

庄内地域(庄内総合支庁) 午前10時から

協議会の概要はこちらから

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/gikaikatsudou/kyogikai/chiiikikyogikai.html>

問い合わせ 編集発行/県議会事務局議事調査課 電話番号 023-630-2846

詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

<12から13ページ>

タイトル

SDGsを知ろう!第4回

持続可能な「やまがた」に向けて

SDGsで掲げられている17のゴール(目標)

その内容と私たちができる身近な取組み例を全6回シリーズで紹介します。

SDGsの実現に向けた取組みを募集中!

SDGsの実現に向けた県民の皆さんの取組みを募集しております。

皆さんの取組みをTwitterで、ハッシュタグ「#やまがたSDGsチャレンジ」をつけて投稿してください。投稿された取組みは、山形県SDGs推進本部公式SNSなどでご紹介します。

詳しくはこちら

<https://twitter.com/yamagatasdgs>

産業と技術革新の基盤をつくろう

インフラの整備を進め、持続可能な形で産業を発展させ、技術革新（イノベーション）を推進していこう。

〈関連する県の主な施策〉

- ・「スタートアップステーション・ジョージ山形」を中心とした新ビジネス創出の促進
- 〈みんなで今日からできるSDGs〉
- ・コワーキングスペースを利用してみよう
- ・公共施設の予約などで電子申請サービス（やまがたe申請）を利用してみよう

人や国の不平等をなくそう

国内及び国家間の不平等を見直そう。

〈関連する県の主な施策〉

- ・障がいや理由とする差別の解消に向けて中核的な役割を果たす「心のバリアフリー推進員」の養成
- 〈みんなで今日からできるSDGs〉
- ・いじめや差別をしない、させないようにしよう
- ・困っている人に声をかけよう

住み続けられるまちづくりを

安全で災害に強く、持続可能な都市及び居住環境を実現しよう。

〈関連する県の主な施策〉

- ・地域における防災力の強化に向けた研修等の実施
- 〈みんなで今日からできるSDGs〉
- ・防災訓練に参加し、防災について考えよう
- ・地域のボランティアに参加しよう

問い合わせ 企画調整課 電話番号 023-630-2896

詳しくは検索窓に「山形県SDGs」といれてクリック。

タイトル **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

東京エリア 都心の庭園で「雪若丸」稲作体験

「つや姫」に次ぐ山形オリジナルブランド米「雪若丸」はデビュー5年目を迎え、首都圏でさまざまなPRを行っています。今年度はさらなる知名度向上を目指して、六本木ヒルズと連携し、同「屋上庭園」で「雪若丸」を栽培し、PRに取り組んでいます。庭園では近隣の住民やオフィス勤めの方を対象とした親子稲作体験を開催しており、5月には田植え体験を行いました。

子どもたちが初めての田んぼの感触に「冷たくて気持ちいい」などの声をあげながら、一株ずつ手作業で苗を植え、体験を通し、親子で稲作やお米への理解を深めていただきました。

稲は、季節の移ろいととも順調に成長し、秋になり黄金色に色づいた時期には新米のPRを行うことで、山形のお米を身近に感じてもらいました。

これからも首都圏での「つや姫」「雪若丸」など県産米の一層のPRに努めてまいります。

写真キャプション1 六本木ヒルズでの「雪若丸」親子田植え体験

写真キャプション2 9月には立派に成長しました！

問い合わせ 県東京事務所 東京都千代田区平河町2の6の3 都道府県会館13階

電話番号 03-5212-9026

県内おススメ文化・スポーツ情報

やまぎん県民ホールイベント情報

<18歳以下ご招待！>

やまがたオペラフェスティバル

オープニングスペシャルコンサート

誰もが聴いたことのあるオペラの名曲を、落語家・桂米團治の案内でお届けします。

開演日時

11月8日（火曜日）午後7時

出演

種谷典子（ソプラノ）、中井亮一（テノール）、高田智士（バリトン）、山形交響楽団、桂米團治（司会）ほか

演目

オペラ『魔笛』『セビリアの理髪師』『カルメン』『椿姫』よりほか

料金

一般5,000円

18歳以下無料（要チケット）

二期会オペラ『フィガロの結婚』

宮本亜門演出による話題のオペラを、最高峰のキャストでお贈りします。

開演日時

1月28日（土曜日）午後2時

出演

阪哲朗（指揮）、山形交響楽団ほか

演目

モーツァルト／歌劇『フィガロの結婚』（注釈）日本語字幕付き原語上演

料金

SS席11,000円からC席4,000円

（注釈）その他お得なセット券あり

詳しくは検索窓に「やまぎん県民ホール」と入れてクリック。

問い合わせ やまぎん県民ホールチケットデスク 電話番号 023-664-2204

（受付時間：水曜日から月曜日の10時から19時）

山形交響楽団定期演奏会情報

第 305 回定期演奏会

開演日時

11 月 19 日（土曜日）午後 7 時

11 月 20 日（日曜日）午後 3 時

出演

指揮：原田慶太楼

ピアノ：藤田真央

演目

ヘンデル：合奏協奏曲 ト長調 作品 6-1 HWV 319

マルタン：7つの管楽器、ティンパニ、打楽器、弦楽器のための協奏曲

ブラームス：ピアノ協奏曲 第 2 番 変ロ長調 作品 83

会場

山形テルサ（山形市）

前売券

A 席 4,800 円 ほか

庄内定期演奏会 第 27 回酒田公演

開演日時

1 月 9 日（月曜日・祝日）午後 3 時

出演

指揮：鈴木優人

ギター：福田進一

演目

ロッシーニ：歌劇「泥棒かささぎ」序曲、ロドリーゴ：アランフェス協奏曲、J. シュトラウスⅡ

世：喜歌劇「こうもり」序曲 ほか

会場

酒田市民会館希望ホール（酒田市）

前売券

A 席 4,800 円 ほか

詳しくは検索窓に「山響」と入れてクリック。

問い合わせ 文化スポーツ振興課 電話番号 023-630-2903

プロスポーツゲーム情報

「山形ワイヴァンズ」ホームゲーム

開催日時

11 月 19 日（土曜日）午後 6 時

11 月 20 日（日曜日）午後 2 時

対戦チーム

青森ワッツ

開催日時

11月26日（土曜日）午後6時

11月27日（日曜日）午後2時

対戦チーム

アースフレンズ東京Z

開催日時

12月17日（土曜日）午後6時

12月18日（日曜日）午後2時

対戦チーム

愛媛オレンジバイキングス

開催日時

12月24日（土曜日）午後6時

12月25日（日曜日）午後2時

対戦チーム

ライジングゼファー福岡

会場 山形県総合運動公園（天童市）

詳しくは検索窓に「山形ワイヴァンズ」と入れてクリック。

「アランマーレ山形」ホームゲーム**開催日時**

12月3日（土曜日）正午

対戦チーム

ブレス浜松

開催日時

12月4日（日曜日）午後2時

対戦チーム

ルートインホテルズブリリアントアリーズ

会場 山形県総合運動公園（天童市）

詳しくは検索窓に「アランマーレ山形」と入れてクリック。

問い合わせ 文化スポーツ振興課 電話番号 023-630-3156

注釈 9月30日時点の情報です。新型コロナの影響で変更となる場合がありますので、事前に問い合わせ先にご確認ください。

旬のやまがた美食レシピ

ねっとりなめらかな食感

子姫芋（こひめいも）

子姫芋は寒河江市南部の皿沼地区を中心に栽培されてきた伝統野菜です。皿沼地区では、最上川沿いの肥沃な土壌が里芋の栽培に適しており、150年前にはすでに子姫芋が栽培されていたようです。子姫芋は、ねっとりとしたなめらかな食感とほのかな甘みが特徴で、食味の良さから近年首都圏の飲食店からも注目を浴びています。寒河江市内の直売所では10月から3月ごろまで販売されています。定番の調理法は「芋煮」ですが、洋食やスイーツなどにも使われています。今回は、子姫芋のねっとりとした食感が楽しめるレシピをご紹介します。

子姫芋のスペイン風オムレツ

材料（4人分、20センチフライパン1個分）

皮をむいた子姫芋2個、玉ねぎ2分の1個、パプリカ赤・黄各4分の1個、ベーコン50グラム、A（卵4個、牛乳大さじ2、粉チーズ、塩少々）、塩・黒こしょう適量、オリーブ油大さじ1、バター20グラム

作り方

- 1 全ての食材を1センチ角に切り、子姫芋は電子レンジで約1分加熱する。
- 2 フライパンにオリーブ油・バター（分量外）を熱して1を炒め、塩と黒こしょうで下味を付ける。
- 3 ボウルにAと2を入れ、混ぜる。
- 4 フライパンにオリーブ油とバターを熱して3を流し入れ、半熟状になるまでかきまぜふたをする。生地に焼き色が付き固まったら上下を返し、焼き上げ完成。

問い合わせ 村山総合支庁西村山農業技術普及課 電話番号 0237-86-8248

詳しくは検索窓に「村山旬の市」と入れてクリック。

<14から15ページ>

タイトル おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 令和4年9月1日現在（プラスマイナス前月比）

人口総数 1,041,968人（前月比マイナス1,004人）

世帯数 400,999（マイナス68世帯）

注釈 9月30日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の影響で変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。

【募集】

令和5年度学生募集

県立産業技術短期大学校（山形市）

募集科

デジタルエンジニアリング科／メカトロニクス科／知能電子システム科／情報システム科／建築環境システム科／土木エンジニアリング科

出願期間

【前期】11月14日（月曜日）から25日（金曜日）

【後期】2月20日（月曜日）から3月9日（木曜日）

試験日

【前期】12月4日（日曜日）

【後期】3月12日（日曜日）

課程 全て2年

問い合わせ 電話番号 023-666-8792

県立産業技術短期大学校庄内校（酒田市）

募集科

生産エンジニアリング科／情報通信システム科／IT会計ビジネス科

注釈 社会人特別入試あり（生産エンジニアリング科、IT会計ビジネス科）

出願期間

【前期】11月14日（月曜日）から28日（月曜日）

【中期】12月19日（月曜日）から1月16日（月曜日）

【後期】3月6日（月曜日）から17日（金曜日）

試験日

【前期】12月3日（土曜日）

【中期】1月21日（土曜日）

【後期】3月22日（水曜日）

課程 全て2年

問い合わせ 電話番号 0234-31-2300

県立山形職業能力開発専門学校（山形市）

募集科

自動車科／建設技術科

出願期間

【一般選考】11月1日（火曜日）から11日（金曜日）

試験日

【一般選考】11月24日（木曜日）

課程 全て2年

問い合わせ 電話番号 023-644-9227

県立庄内職業能力開発センター（酒田市）

募集科

金属技術科

出願期間

【前期】10月3日（月曜日）から11月11日（金曜日）

【後期】12月12日（月曜日）から1月25日（水曜日）

試験日

【前期】11月27日（日曜日）

【後期】2月5日（日曜日）

追加選考試験

出願期間

2月13日（月曜日）から3月9日（木曜日）

試験日

3月19日（日曜日）

（注釈）定員に達しない場合に限り実施します。

課程 1年

問い合わせ 電話番号 0234-31-2700

県立農林大学校（新庄市）

募集科

稲作経営学科 / 果樹経営学科 / 野菜経営学科 / 花き経営学科 / 畜産経営学科 / 農産加工経営学科 / 林業経営学科

出願期間

【前期】11月21日（月曜日）から28日（月曜日）

【後期】2月24日（金曜日）から3月3日（金曜日）

試験日

【前期】12月5日（月曜日）

【後期】3月13日（月曜日）

課程 全て2年

問い合わせ 電話番号 0233-22-1527

【催し物】

犯罪被害者支援県民のつどい2022

犯罪被害者とその家族が置かれている状況や必要な支援等について、講演などを通して理解を深めます。

◆日時

11月22日（火曜日）午後1時30分から午後4時

◆会場

山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング（山形市）

◆入場

無料（要事前予約）

◆内容

犯罪被害者支援に関する講演など

詳しくは県ホームページをご覧ください。

詳しくは検索窓に「山形県 被害者支援県民のつどい」と入れてクリック。

問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話番号 023-630-2460

「とびしまクリーンツーリズム」地球をきれいにするオンラインの旅

小中学生とその保護者を対象に、飛島をテーマにして「今からできる、海ごみを減らす方法」を学ぶオンライン環境プログラム「とびしまクリーンツーリズム」を開催します。

◆期日

令和5年1月14日（土曜日）、15日（日曜日）、21日（土曜日）、22日（日曜日）、28日（土曜日）

◆参加方法

Zoom

◆申込期間

11月15日（火曜日）から12月6日（火曜日）

申込み方法など詳しくはこちら

https://www.pref.yamagata.jp/050010/kurashi/kankyo/haikibutsu/tobishima_clean_tourism.html

◆問合せ先事務局

株式会社日本旅行東北山形支店 メール：tct_online2022@nta.co.jp

問い合わせ 循環型社会推進課 電話番号 023-630-2323

【お知らせ】

山形県宝くじ情報

県内で販売された宝くじの売上げの一部は、県や県内市町村の収益金となり、道路や橋、学校、公園の整備など私たちの身近な暮らしに役立てられています。宝くじはぜひ山形県内でお買い求めください。

年末ジャンボ宝くじ 10億円

年末ジャンボミニ 5,000万円

発売期間：11月22日（火曜日）から12月23日（金曜日）

New 宝くじ

いつでも買える。秒で結果でる。

「クイックワン（Quick One）」

宝くじ公式サイトで発売中！

公式サイトはこちら <https://www.takarakuji-official.jp/ec/quickone/>

問い合わせ 財政課 電話番号 023-630-2044

税を考える週間について

税の仕組みや使い道など、税に対する理解をより一層深めていただくとともに、税務行政に対する

理解や納税意識の向上を図るため、11月11日から17日までを「税を考える週間」としています。詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。

(<https://www.nta.go.jp/about/introduction/torikumi/week/aboutweek.htm>)

税は福祉や教育などの身近な行政サービスを提供するための大切な財源です。この機会に税の意義や役割を考えてみませんか。

問い合わせ 税政課 電話番号 023-630-3347

高齢者の交通事故防止推進強化旬間

(11月1日から10日)

日没がさらに早まるこれからの時期は、夕暮れ時から夜間にかけて、特に高齢者が関係する事故が多発します。夕方4時から、車も自転車も早めのライト点灯、夜間における車のハイビームの積極的な活用、夕方からの外出時は明るい色の衣類と夜光反射材の着用を心がけ、交通事故を防止しましょう。

問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話番号 023-630-2460

11月は児童虐待防止推進月間です

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。あなたの1本の電話で救われる子どもがいます。児童虐待かもと思ったら、すぐに市町村や児童相談所の窓口に連絡してください。

◆児童相談所虐待対応ダイヤル 電話番号 189 (いちはやく)

県では、この期間を中心に、児童虐待の防止や子どもの人権に関心を持ってもらうため、「山形県オレンジリボンキャンペーン」を実施します。詳しくは県ホームページをご覧ください。

詳しくは検索窓に「山形県 オレンジリボンキャンペーン」と入れてクリック。

問い合わせ 子ども家庭支援課 電話番号 023-630-2259

令和4年10月6日から山形県の最低賃金が改定されました

1時間 822円から854円

最低賃金以上の賃金が支払われていますか？お確かめください。

問い合わせ 雇用・産業人材育成課 電話番号 023-630-3117

新型コロナ 適切な医療機関の受診のお願い

〈発熱やせきなどの「軽い症状」があるとき〉

●基礎疾患がなくワクチン接種をされている60歳未満の方は、オミクロン株では重症化するリスクが低いので、発熱しても、まずは、市販薬（解熱剤等）で対応をお願いします。

●救急医療が緊急に必要な人の診療が遅れないように、軽いかぜ症状だけの場合は、夜間・休日は受診を控え、平日の日中に、かかりつけ医（定期的に受診している医療機関）などを受診して

ください。あわてず通常の診療時間内に受診しましょう。

かかりつけ医がある場合

（注釈）受診前に必ず電話で受診相談をお願いします

定期的に受診している医師にご相談ください

かかりつけ医がない場合・受診を迷われるとき

・受診相談コールセンター フリーダイヤル 0120-88-0006（24時間受付・土日祝日も含む）

「無症状」の方のご相談

一般相談コールセンター

フリーダイヤル 0120-56-7383（午前8時30分から午後6時・土日祝日も含む）

ワクチンの副反応等に関するご相談

県ワクチンコールセンター

フリーダイヤル 0120-567-690（午前8時30分から午後6時・土日祝日も含む）

聴覚・言語障がいのある方のご相談

県コロナ収束総合企画課（FAX）023-625-4294（平日午前8時30分から午後5時15分）

「令和4年8月山形県大雨災害義援金」を募集しています

県では、8月3日からの大雨により被災された方々を支援するため、義援金の受付を行っています。お寄せいただいた義援金は、市町村を通して、被害を受けた方々にお届けします。

◆募集期間

12月28日（水曜日）まで

募金の方法など、詳しくは県ホームページをご覧ください

https://www.pref.yamagata.jp/090014/kenfuku/fukushi/chiiikifukushisuishin/r4_8gatsuoam esaigaigienkin.html

プレゼントクイズ

特集のタイトルにもあるように、県では「○○○○○なら山形県」をキャッチフレーズに、子育ての支援に取り組んでいます。さて、○○○○○には何が入るでしょうか？

ヒント4から5ページ 特集

1等 「つや姫」及び「雪若丸」各2キログラム【5名様】

2等 庄内町のほしがきさん【10名様】

MOMOTATU 佐藤邦子

第2回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」

果実加工品部門 最優秀賞

正解者の中から抽選で賞品（指定はできません）をプレゼント！

はがきに①クイズの答え②「県民のあゆみ」への感想など③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。Eメールでの応募の場合は、本文に①から③を入力し、タイトル「プレゼントクイズ」で、y-ayumi@pref.yamagata.jpに送信してください。

あて先

郵便番号 990-8570（住所は不要です）山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」11月号プレゼントクイズ係

締め切り 11月30日（水曜日）（当日消印有効）

注釈 応募いただいた個人情報は、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

<16 ページ>

タイトル 潜入レポート

どうなってるの!?

山形県ドクターヘリ

2012年から山形県での運航をスタートしたドクターヘリ。

コンパクトな機体の中はどうなっているの？

患者さんの命を救え！

医師と看護師を乗せて現場へ急行。

時速 200 キロメートルで空を駆け抜け、全国の救急医療の現場で活躍するドクターヘリ。山形県では県立中央病院を基地として、県内 700 箇所以上のランデブーポイント（ドクターヘリと救急車の合流地点）を使うことで、山形県全域を活動範囲にしています。

出動は、年間 250 回ほどで、悪天候以外の日はほぼ毎日のように出動し、多い日には 4 回以上出動することもあるそう。患者さんの搬送を目的とした救急車との大きな違いは、救急が専門の医師と看護師がヘリに乗って現場に向かい、その場で治療を行うこと。ヘリには治療に必要な医療器具や薬品などが積んであります。機内は狭いうえ、プロペラの大きな音や機体の揺れなどで、治療が難しい環境です。そのため、ドクターヘリが救急車と合流すると、医師と看護師は救急車内で患者さんに必要な治療を行い、その後ヘリに患者さんを乗せて速やかに病院まで搬送しています。

写真キャプション 1 スペースを効率的に使って患者さんの治療に努めます

（注釈）訓練中の写真です

写真キャプション 2 これが山形県のドクターヘリ！

ヒミツポイント

<ヘリの後ろは大きく開く！>

ドクターヘリの後ろにある 180 度を開いた大きな扉から、患者さんを乗せたストレッチャーを出し入れします。

<ドクターヘリの定員は何人？>

山形県のドクターヘリの定員は 7 人。医師と看護師、パイロット、整備士のほか患者さんと家族が乗ることができます。

<自動操縦も使用しながら安全に運航！>

ヘリには、パイロットを補助する自動操縦装置が付いています。パイロットは、飛行ルートを持しているか、異常はないかを確認し、必要があれば手動に切り替え操縦します。

＜運航を管理するのはCS（コミュニケーションスペシャリスト）！＞

出動要請を受けるのは中央病院のCSルームの職員たち。現場に近いランデブーポイントや、出動できる天候状態なのかを常に確認し、パイロットにアドバイスします。

山形県立中央病院 救急科 医師/フライトドクター

辻本 雄太（つじもとゆうた）さん

ドクターヘリには、私たち医療関係者と運航会社だけではなく、消防、行政、ランデブーポイントの提供者など、多くの人たちが関わっています。患者さんの突発的なけがや病気に対応できるように、いろいろな人たちの協力があることを知ってほしいです。

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和4年11月号 630号

奇数月1日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目8番1号 電話番号 023-630-2534

表紙題字 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>